

## ごあいさつ



今日、地球環境を守ることは、私たち人類の生存基盤にかかわる最も重要な課題のひとつの考えから、世界規模で持続可能な社会の実現に向けた環境への取り組みが広がりをみせています。

そして地球温暖化防止のための「京都議定書」が2005年2月に発効し、世界各国に温室効果ガス排出削減の数値目標が設定され、各国の取り組みがスタートしました。

また、環境問題について早くから高い意識を持つEUにおいては、2003年2月に電気電子機器に使用する特定有害物質を制限するRoHS指令が発効され、2006年7月から適用される予定です。

このような環境保全に対するさまざまな規制は、我々事業者にとって非常に厳しいルールではありますが、国や地域、企業、個人など全ての地球市民がそれぞれに自ら地球環境に与えている負荷を知り、その削減に努めるためには、非常に重要なことだと考えています。

当社グループにおいては、我々の活動が地球環境に密接に関わっていることを深く認識し、事業の発展と環境保全の両立を図った持続可能な社会の実現を目指しています。この認識のもとで、事業全般にわたる環境負荷低減を推進するとともに、環境測定・分析、環境コンサルティングやリサイクル事業を営むグループ各社の活動を通じて、環境保全と環境問題の解決に貢献しています。今後もこれらの活動に加え、先に述べましたRoHS指令への適合と有害物質排除のため、原材料の含有調査および代替材料の採用を進めるとともに、グリーン製品やスーパーグリーン製品の開発により、さらに環境負荷の少ない製品の供給を進めてまいります。また、国内のみならず海外に展開した拠点での環境負荷の軽減を積極的に推進してまいります。

この「環境報告書2005」は持続可能な社会づくりのため、FDKグループがどのように考え、どのような活動をグローバルに展開しているかをまとめたものです。当社グループの考え方や活動を一人でも多くの方にご理解いただき、また、私たちの環境活動の質を高めていくために、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

FDK 株式会社  
代表取締役社長

杉本俊春